



平成 26 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 日本プラスチック株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 広瀬 信  
(コード番号 7291 東証第二部)  
問 合 せ 先 執行役員経営企画室長 新浜 隆則  
電 話 番 号 0544-58-9080

## 業績予想値と実績値との差異及び営業外費用計上に関するお知らせ

平成 25 年 10 月 31 日付「第 2 四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しました、通期業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。また、平成 26 年 3 月期における下記の営業外費用の計上につきまして、併せてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 26 年 3 月期 連結業績予想値と実績値の差異

(1) (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

|                               | 売 上 高          | 営業利益         | 経常利益         | 当期純利益        | 1 株当たり<br>当期純利益 |
|-------------------------------|----------------|--------------|--------------|--------------|-----------------|
| 前回発表予想 (A)                    | 百万円<br>117,000 | 百万円<br>2,400 | 百万円<br>2,800 | 百万円<br>1,400 | 円銭<br>113.11    |
| 実績 (B)                        | 116,756        | 1,480        | 1,632        | 1,052        | 75.66           |
| 増減額 (B - A)                   | △244           | △920         | △1,168       | △348         | —               |
| 増減率 (%)                       | △0.2           | △38.3        | △41.7        | △24.8        | —               |
| (ご参考)<br>前期実績 (平成 25 年 3 月 期) | 94,164         | △383         | △461         | △3,612       | △220.54         |

(2) 業績予想値との差異が生じた理由

平成 26 年 3 月期の連結業績につきましては、売上高は日本及び北米での増産効果はあったものの、中国における減産影響が大きく、全体では減収となりました。利益面では減収影響に加え、メキシコ子会社での生産トラブル影響等により、大幅な減益となりました。

## 2. 平成 26 年 3 月期 個別業績予想値と実績値の差異

(1) (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

|                               | 売 上 高         | 経常利益       | 当期純利益     | 1 株当たり<br>当期純利益 |
|-------------------------------|---------------|------------|-----------|-----------------|
| 前回発表予想 (A)                    | 百万円<br>45,100 | 百万円<br>250 | 百万円<br>40 | 円銭<br>3.21      |
| 実績 (B)                        | 46,658        | 871        | 119       | 8.52            |
| 増減額 (B - A)                   | 1,558         | 621        | 79        | —               |
| 増減率 (%)                       | 3.4           | 248.4      | 197.5     | —               |
| (ご参考)<br>前期実績 (平成 25 年 3 月 期) | 46,076        | △1,322     | △4,712    | △286.87         |

(2) 業績予想値との差異が生じた理由

平成 26 年 3 月期の個別業績につきましては、売上高は主要得意先向け増産影響により増収となり、経常利益及び当期純利益はメキシコ子会社の貸倒引当金増加はあったものの、増収効果及び子会社受取配当金の増額等により、前回発表の業績予想を上回る結果となりました。

## 3. 営業外費用の計上について (個別)

当社の関係会社貸付金について、貸付先の財政状態及び経営成績等を精査し、関係会社貸倒引当金繰入額 2,851 百万円を営業外費用として計上しました。  
尚、本件につきましては当社個別のものであり、連結決算では相殺消去されるため、連結業績に与える影響はございません。

以 上